

学校教育目標
「国際社会を 心豊かに 元気に かしこく 生きる子どもの育成」

めざす子どもの姿

豊かな人間性
思いやりのある子ども
よく考える子ども

健康・体力
元気のある子ども
健康な心と体を鍛える子ども

子どもの実態 (意識調査より)
自分によいところがある 70.7%
課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組む 77.7%
話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考えを受け止めて自分の考えを伝える 79.8%
友達の話や意見を最後まで聞く 93.7%

子どもにつけたい力(資質・能力の育成)

何を身につけるか・何ができるようになるか

- 主体的に考え、状況に応じて課題を解決しようとする。
- 学んだ知識や技能を用いて、よりよく解決しようとする。
- 自分の思いや考えをわかりやすく説明しようとする。
- 自分や相手のことを大切にしようとする。
- 様々な考えから自分の考えを深めようとする。
- 目的に応じて、互いの考えや思いを伝えようとする。
- 適切にコミュニケーションをとろうとする。
- 自分や相手のいいところをわかろうとする。

何を学ぶか

- 互いの違いや立場に気付き、尊重できる態度。
- 自分の考えを持ち、様々に表現できる力。

どのように学ぶか

- グループ活動やペアワークを通じて、多様な見方や考え方を学ぶ。
- シンキングツールをもとに、自分の考えを深め、相手に伝える経験を重ねる。

**研究テーマ▶「わかった・できた・伝え合おう」
～自分の思いや考えを伝え合おう～**

学校の研究推進 **各研究部会による重点的な取組み**

教科教育研究部会
重点教科:国語科

- ◎考える力を育み、自分の考えを持てる工夫
- ◎物語文を通して自信を持って自分の考え伝える
- ◎多様な考えを認め合う、登場人物や相手の気持ちを想像するための工夫

人権教育研究部会
自分も友だちも大切に
安心できる集団づくり

- ◎自尊感情・人とかかわる力・協力する力を育てる授業づくり
- ◎共に学んでいこうとする集団づくり
- ◎いのちの教育

学校 各教科、特別の教科道徳、外国語活動
総合的な学習の時間、特別活動の実践

- ☑ 学校、家庭、地域等の連携と協働
- ☑ 学校、家庭、地域等による指導体制の構築と充実
- ☑ 登下校時の見守体制強化に向けた学校と地域の連携
- ☑ 子ども理解を基盤とした授業の実施
- ☑ 学習効果を最大化するための加算コラム・マゼ' Mの作成と管理
- ☑ 地域と連携した安全教育の実施
- ☑ いじめ、虐待防止・不登校対策の推進と連携強化
- ☑ 一人一台タブレット・ICT 機器等を活用した学習活動の充実
- ☑ 幼保小連携・小小連携・小中連携の取組みの推進
- ☑ 開かれた学校づくりの推進
- ☑ 非常変災時等への危機管理対策と迅速な対応と連携

地域

家庭